養護教諭による　いのちの授業（5年生）　11／29（月）

５年生の児童を対象として、「いのちの授業」を行いました。いのちの教育には次の３つの柱があります。

〇自分を大切に思える気持ち（自尊感情）を育てる。
〇いのちのつながりと多様性に気づかせる。
〇いのちの尊さと人間としての生き方をしっかり教える。

まずは、学習のめあての確認です。今日は「いのち」について考えていきます。でも、まだ漠然としています。

次に、自分が生まれた時の家族の思いを話してもらいまいた。お父さんやお母さんがどんな思いで新しい生命を迎えたのでしょうか。各クラスの代表が発表してくれました。

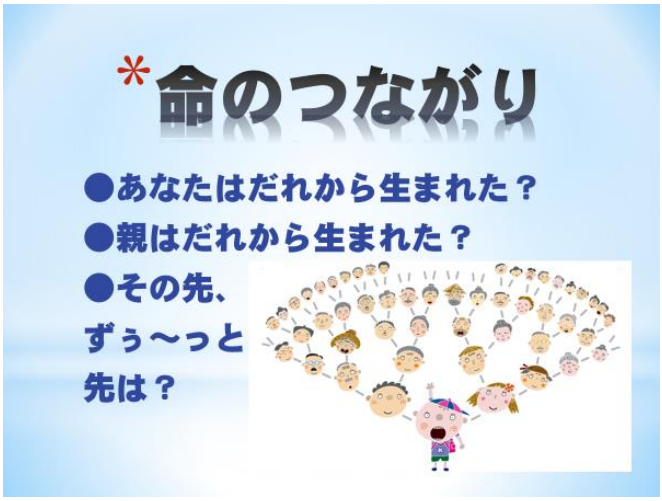
背景の写真は、児童のみなさんが誕生した時のものです。

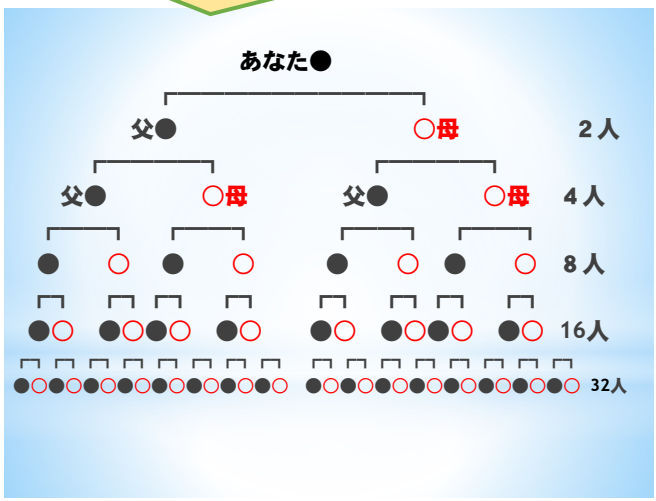
弟や妹が生まれたときの気持ちも考えてみました。

さらに、養護教諭が自身の出産について話しました。母親としての愛情が感じられます。

養護教諭は、産科の看護師の経験もあり、いろいろな体験談を聞くことができました。

ここから、命のつながり（いのちのバトン）についての学習です。
自分の命を１０代前までたどってみると、１０２４人が関わっていることになります。





400000分の１の卵子
300000000分の１の精子
奇跡に近い確率で運命的な出会い
↓
1つの命の誕生
これ以上ない最高級の宝物!!

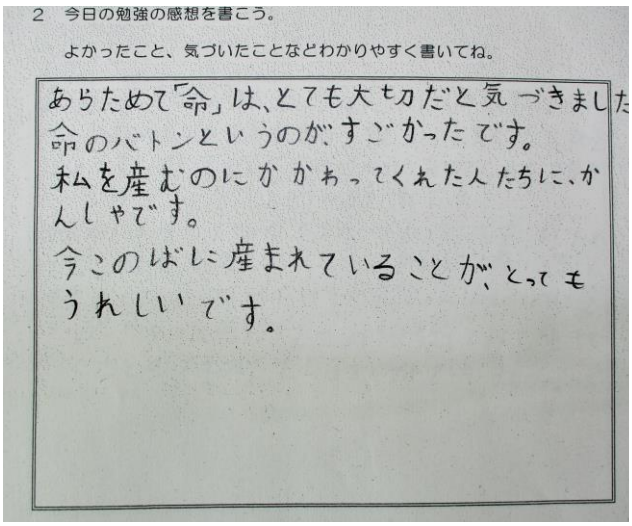
＊まとめ

○限りある命
○かけがえのない命
○「死ね」という言葉の重さ
○たった一度だけ与えられた
この上なく大切な命
○一生懸命生きること

一人ひとりの命がかけがえのないものであることを学びました。
そして、自分の脈に触れて、生きていること、心臓が動いていることを実感しました。

最後は、各学級の担任が、命についてそれぞれの思いや願いを話しました。
４名の担任はそれぞれ自分の体験をもとに命の尊さについて児童に語りかけました。思わず涙ぐむ場面も見られました。きっと児童の心に響いてくれたものがあると思います。

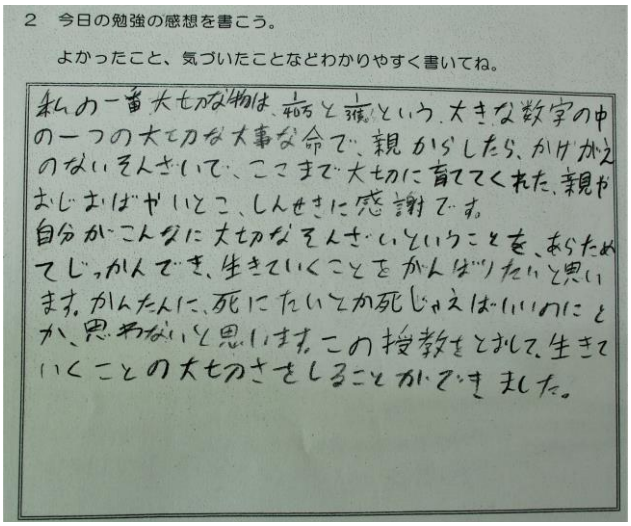
今日の学習で思ったことや考えたことなどをワークシートに記入しています。
小中学校においても、自らの命を絶ってしまうことや他人の命を奪ってしまうという悲しい事件が起きている中、命を大切にしてほしいという私たちの願いを込めた授業です。
これからも、自他の命を大切にし合う子どもたちを育て、安心して通うことのできる学校づくりに努めていきます。



2　今日の勉強の感想を書こう。

よかったこと、気づいたことなどわかりやすく書いてね。

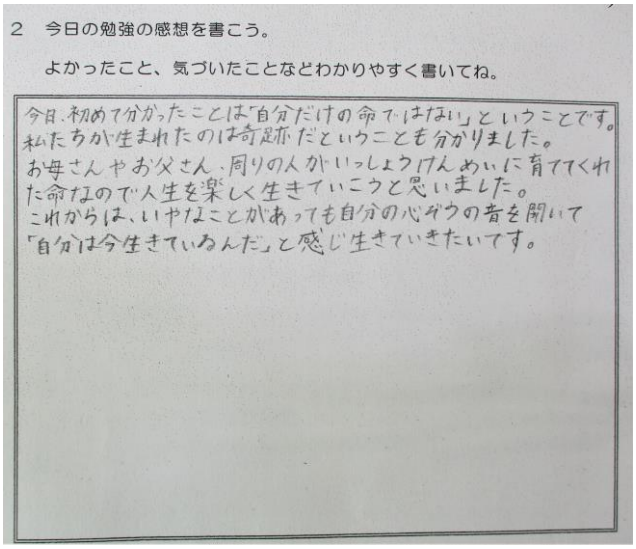
あらためて「命」は、とても大切だと気づきました
命のバトンというのが、すごかったです。
私を産むのにかかわってくれた人たちに、かんしゃです。
今このばに産まれていることが、とってもうれしいです。



2　今日の勉強の感想を書こう。

よかったこと、気づいたことなどわかりやすく書いてね。

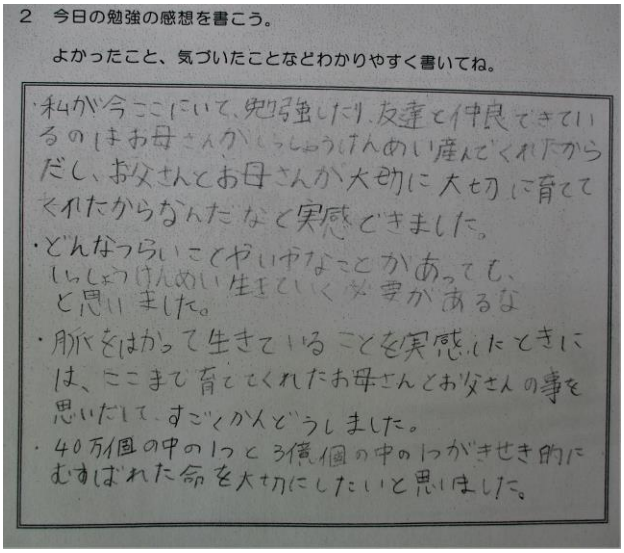
私の一番大切な物は、命と魂という、大きな数字の中の一つの大切な大事な命で、親からしたら、かけがえのないそんざいで、ここまで大切に育ててくれた、親やおじいばやいとこ、しんせきに感謝です。
自分がこんなに大切なそんざいということを、あらためてじっかんでき、生きていくことをかんばりたいと思います。かんたんに、死にたいとか死じゃえばいいのにとか、思わないと思います。この授業をとおして、生きていくことの大切さをしることができました。



2　今日の勉強の感想を書こう。

よかったこと、気づいたことなどわかりやすく書いてね。

今日、初めて分かったことは「自分だけの命ではない」ということです。
私たちが生まれたのは奇跡だということも分かりました。
お母さんやお父さん、周りの人がいっしょうけんめいに育ててくれた命なので人生を楽しく生きていこうと思いました。
これからは、いやなことがあっても自分の心ゾウの音を聞いて「自分は今生きているんだ」と感じ生きていきたいです。



2　今日の勉強の感想を書こう。

よかったこと、気づいたことなどわかりやすく書いてね。

・私が今ここにいて、勉強したり、友達と仲良できているのはお母さんがいっしょうけんめい産んでくれたからだし、お父さんとお母さんが大切に大切に育ててくれたからなんだなと実感できました。
・どんなつらいことやいやなことがあっても、いっしょうけんめい生きていく必要があるなと思いました。
・脈をはかって生きていることを実感したときには、ここまで育ててくれたお母さんとお父さんの事を思いだして、すごくかんどうしました。
・40万個の中の1つと3億個の中の1つがきせき的にむすばれた命を大切にしたいと思いました。